

## 水いぼ

のもと皮膚科クリニック 野本 重敏

(2004年6月21日放送)

### Q 水いぼの症状は？

A 水いぼといいますのは、ちょうど今ごろの暑い時期にお子さんの体に生じるもので、直径1mmから2mmくらいの、少し赤みがかかった白いブツブツがたくさんできる病気です。

### Q 感染するものですか？

A 正式な病名を伝染性軟属腫といいまして、ヒトからヒトへ感染する病気です。ブツブツの中には、たくさんのウイルスが詰まっています。皮膚への接触により感染すると考えられています。時々炎症を起こして、かゆみを伴うこともあります。

### Q どのように感染していくのでしょうか？

A 水いぼはよくプールでうつります。本当にそうなのかは議論のあるところでしたが、最近になりそれを裏づける研究結果が報告されました。ただし、プールだけでうつるのかといえばそうではなくて、日常生活でも、普通に遊んでいる時に肌と肌が触れ合えばうつることになります。プールの水を介してうつるとするのは少し考えにくいので、むしろビート板や浮き輪、タオルなどを共用したためにうつる場合が多いと考えられます。

### Q ふだんから注意することは？

A 水いぼが見つかったら、プールの使用を禁止することで確かに感染の拡大は防げるかもしれませんが。しかし水いぼというのがインフルエンザなどと違ってそれほど恐ろしい病気ではないことと、プールでなくてもうつるということを考えますと、プールだけ完全に禁止しても意味がないかもしれません。少なくともビート板や浮き輪は使用しないようがよさそうです。皮膚に湿疹がありますと水いぼにかかりやすくなりますので、ふだんから

クリームなどを塗ってスキンケアをしておくことが水いぼの予防になるでしょう。

Q 水いぼの治療は？

- A 最も早くて簡単な治療は、水いぼをピンセットでつまんで取ることです。しかし、水いぼは実は自然に治る病気で、平均で6ヶ月半くらいで自然に消えてしまいます。ですから痛い思いをしてピンセットで取るべきかどうかは医療関係者の間でも議論になっています。痛くない治療法はいろいろ工夫されてはいますが、治癒までに時間がかかるもののが多く、まだこれといったよい治療法がありません。ですから今のところは頑張ってピンセットで取ってしまったほうがいいのではないかと思います。局所麻酔のテープを貼ってから取る方法もあり、痛みはかなり軽減されます。近くの皮膚科で相談を受けてください。